

みどりの共創プロジェクト

『コミュニティ×みどり』

トラックガーデンを活用したコミュニティの創造

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



事業の目的



● 目指すべき姿

公園等における緑化活動への市民の継続した参加、更には、スポーツ・文化活動までも包括して、様々な公共空間で、市民がやりたいコトに応じた市民活動に参加していく中で、地域のコミュニティ活動が盛んなまち

● 事業内容

川崎市では、大小様々な市民活動が展開されているものの、現実では限られたプレイヤーが参加しているに過ぎない。

地域の活動（みどりに限らず、スポーツや文化的活動も含め）を包括的にまとめたプラットフォームを育み、活動したい人（主催者、参加者いずれも）と活動できる場所のマッチングを促進し、要件を満たせば誰でも、自由に、平等に参加できる仮想地域の総合型クラブ（年会費制）を立ち上げる。

なぜこの取組を行うのか



住み続けたいと思われるためには、『地域との繋がり』は重要な要素

地方圏での暮らしを検討する理由(Top5)

地域との繋がりがない人が

7 割弱も存在

自分の地域との
繋がり方

- 地域のイベント/団体等に参加したことがある
- イベント/参加したことがないが、立ち話をする知り合いはいる
- つながりは、ほぼない/ない

『住み続けたい』と『地域との繋がり』の相関

『地域との繋がり』が多い人は
『住み続けたい』と感じやすい

『住み続けたい』と思う人の『地域との繋がり頻度』

ほぼない
(低頻度)

約2倍



週3以上
繋がりがある
(高頻度)

事業のステップ



ビジョン
(達成したい姿)

地域の市民活動のプラットフォーム化、場所と人のマッチング

STEP4
市民活動の
クラブ化

『総合型地域クラブ（総合型地域スポーツクラブの拡大版）の実現』

市民のメリット：会費を払えば、様々な地域での活動に参加できる機会の創出
事業者メリット：エリアマネジメント業務と収益の安定化
自治体メリット：様々な公共空間（官民間わず）を地域に一定のルールの上で解放し、市のコミュニティ施策の実現

STEP3
既存公園
への展開

『近隣公園以下の公園を市民活動の場として、公開』

市民のメリット：身近な公園が多様な市民活動の場として、展開されることで、市民活動機会の増加
事業者メリット：例えば、指定管理者制度や市民活動のコーディネーターの指定等を受けながら、エリアマネジメント活動の事業化
自治体メリット：市民に裁量を与えることで、市民活動の多様化、市民対応業務の窓口の一本化

STEP2
民設公園
の実証

『STEP1、STEP1.5を踏まえ、スポンサーを募った上で都市公園法に縛られない、公園を期間限定で実証する。』

市民のメリット：みどりに限らず、旧来のルールに縛られない市民活動の場が増えることで、新しい市民活動機会の創出
事業者メリット：広報効果、地域の多様なプレイヤー（仲間）の発掘
自治体メリット：公共空間の活用可能性の実証、市民ニーズの把握

STEP1.5
(仮想)
ONEPARK

『トラックガーデンを通じて、エリアごとの市民ニーズの把握』

市民のメリット：仮設でも、みどりを楽しむ場が身近に出現し、参加機会の創出
事業者メリット：初期コストを最小限に、（市の協力を得ながら）市場調査の実施
自治体メリット：地域ごとのコミュニティに対するニーズの把握



STEP1
play green
の実現

『SUPERNOVA川崎のgood plants（植栽コンセプト）を活用して、触れられるみどりの場の実現と地域コミュニティの醸成』

市民のメリット：都市部駅近接エリアでのみどりとふれあい機会
事業者メリット：（ホリプロ）施設認知の向上、（GN/ONE博）みどりを通じた活動の認知度向上
自治体メリット：（市有地上の民間施設における）民間発のグリーンコミュニティの構築事例

メンバーと役割 (案)



会社概要 (AtoZ)

担えるリソース



- ・植栽帯の施工、雨水循環システムの提供
- ・商業施設などの空きスペースの紹介または提供
- ・(トラックのリース)



- ・ガーデンの企画、実施
- ・ワークショップの企画運営



- ・ストーリー作り
- ・エンターテイメントの演出
- ・協賛周り等



- ・実施場所の紹介または提供



- ・出展者募集 (市民活動団体やキッチンカーなどのマッチング)
- ・広報
- ・アップサイクル取り組み紹介・ワークショップ (ムシボット、コンポスト等)



- ・実施場所の紹介または提供 (コスギアイハグ)

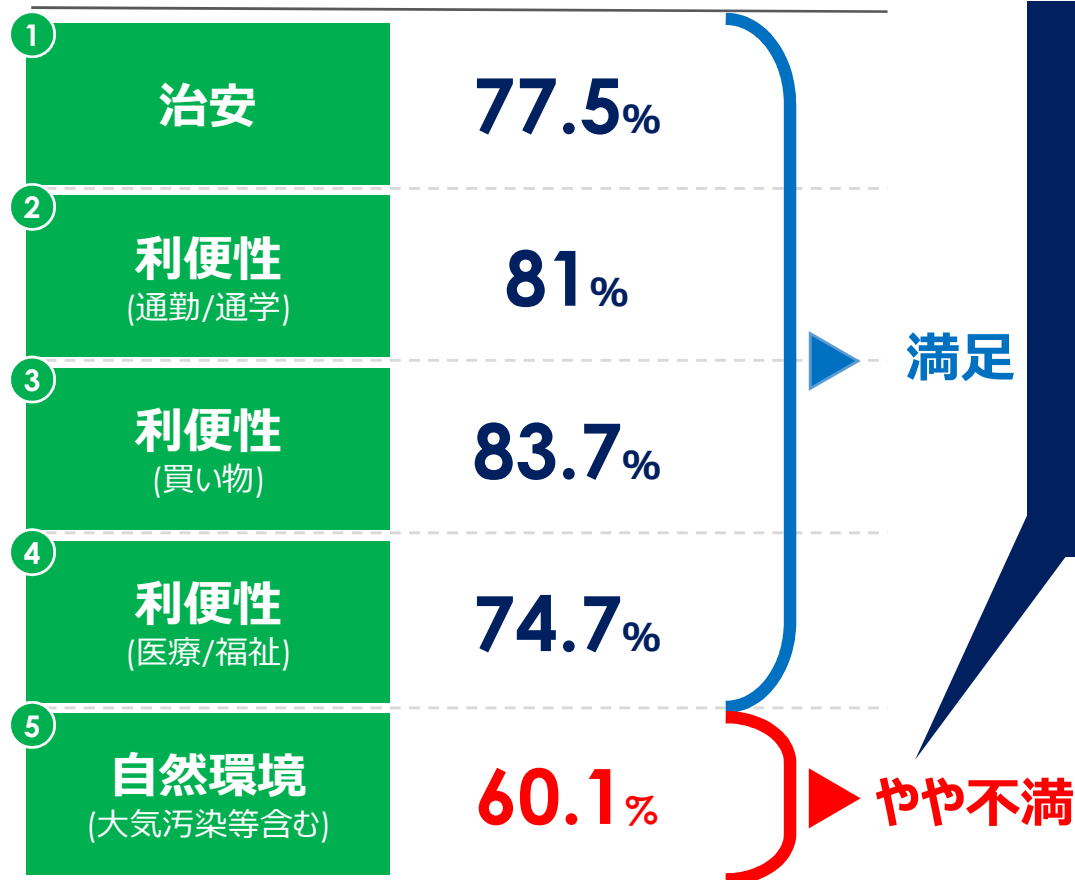
トラックガーデンから行う理由



●川崎市は自然環境に課題

川崎市民の『居住環境としての川崎』は全体的な満足度は高いが、自然環境には不満を感じている人も多い

『居住環境で重視するランキングTop5』と
『川崎市民の満足度』



川崎市民は『自然環境』に
不満を抱えている人も多い

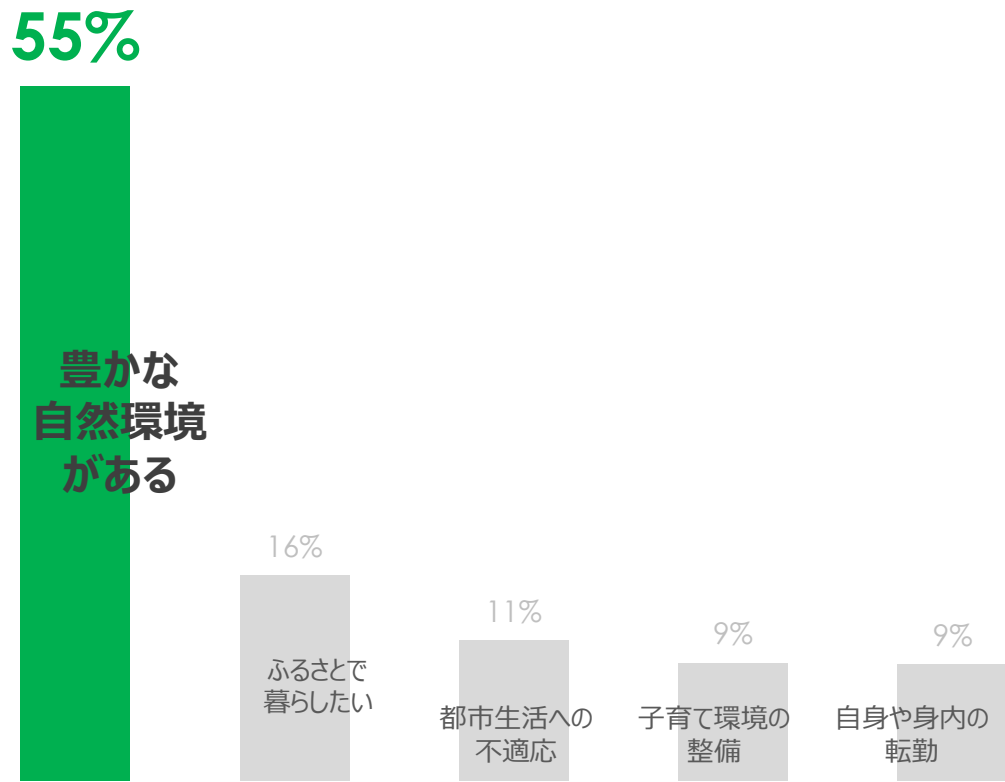
トラックガーデンから行う理由



● 自然環境に不満を感じると起きること

川崎市の便利さは感じつつも、自然環境が不満を感じると川崎市から転居される可能性がある

地方圏での暮らしを検討する理由(Top5)



ケース

ペルソナイメージ

心理

1



川崎市は便利だけど
子供達は自然と触れ合
える豊かな環境で育て
たい

2



老後はもっと緑と
触れ合える環境で
過ごしたい

※出典：内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局「移住に関するアンケート調査」（令和2年）により、n=4981

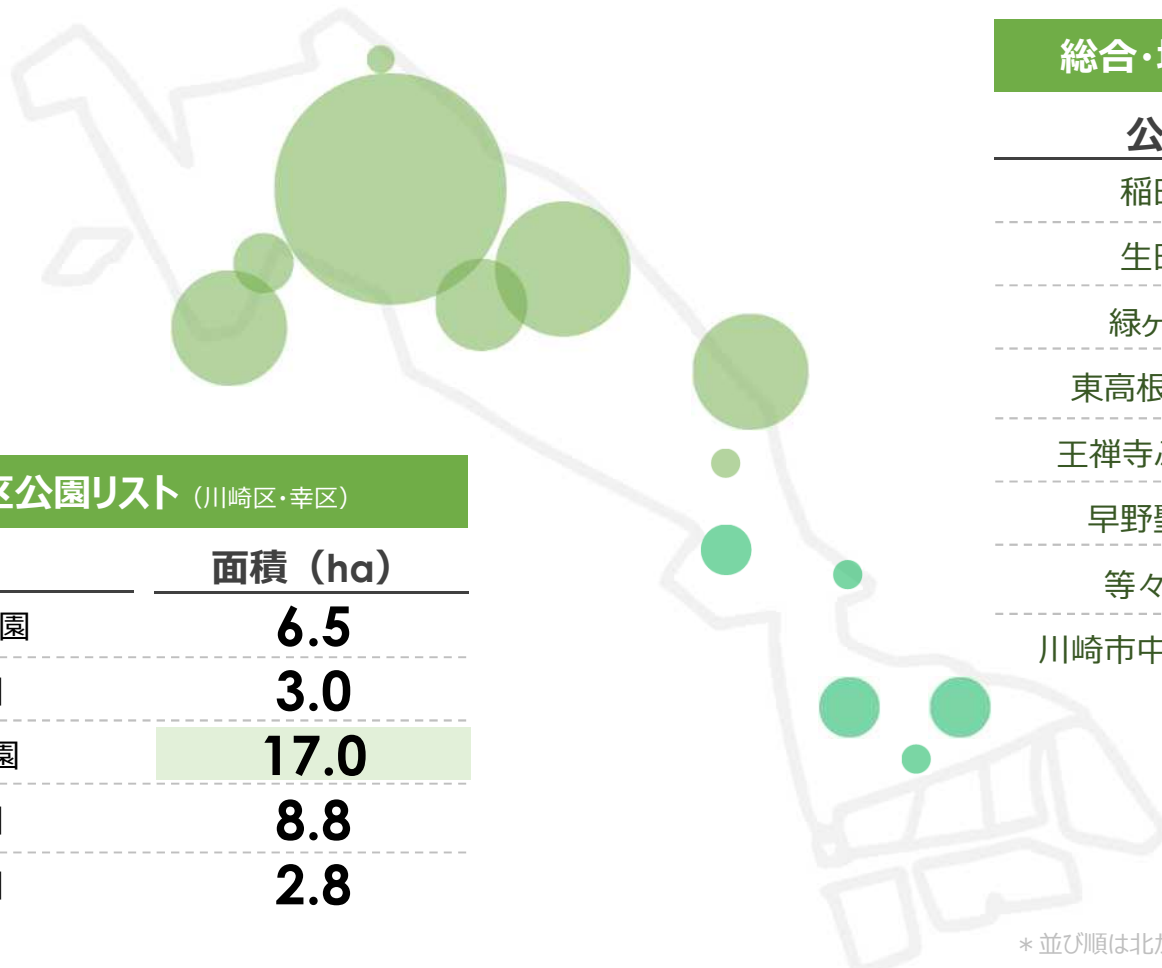
トラックガーデンから行う理由



● 自然を感じられる場所に制限

川崎市は南北に長く、エリアによってはみどりに触れられる機会が少ない

川崎市総合・地区公園の分布と面積 (平成30年)



総合・地区公園リスト (川崎区・幸区)

公園名	面積 (ha)
夢見ヶ崎公園	6.5
御幸公園	3.0
富士見公園	17.0
大師公園	8.8
桜川公園	2.8

総合・地区公園リスト (川崎区・幸区以外)

公園名	面積 (ha)
稲田公園	3.2
生田緑地	126
緑ヶ丘霊園	50.6
東高根森林公園	13.0
王禅寺ふるさと公園	10.5
早野聖地公園	30.5
等々力緑地	43.6
川崎市中原平和公園	4.1

* 並び順は北から南の順で、背景が薄緑のほうは、総合公園のことを指す

※出典：川崎市建設緑政局緑政部みどりの企画管理課「川崎市公園・緑地等位置図」(平成30年度版)により作成。

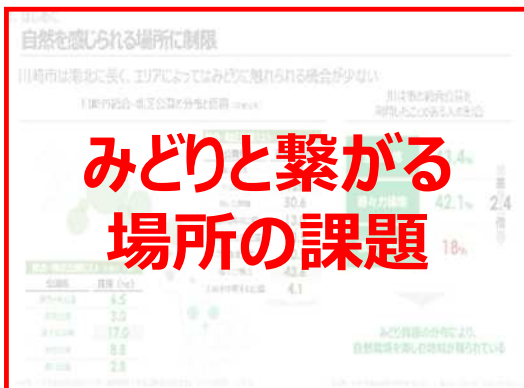
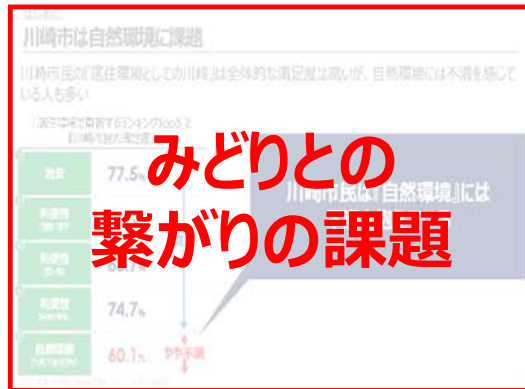
トラックガーデンから行う理由



●トラックガーデンで解消する課題

川崎市が『暮らしやすく/住み続けたい川崎』となることを阻害する3つの課題を解決することを目的に、トラックガーデンを行う

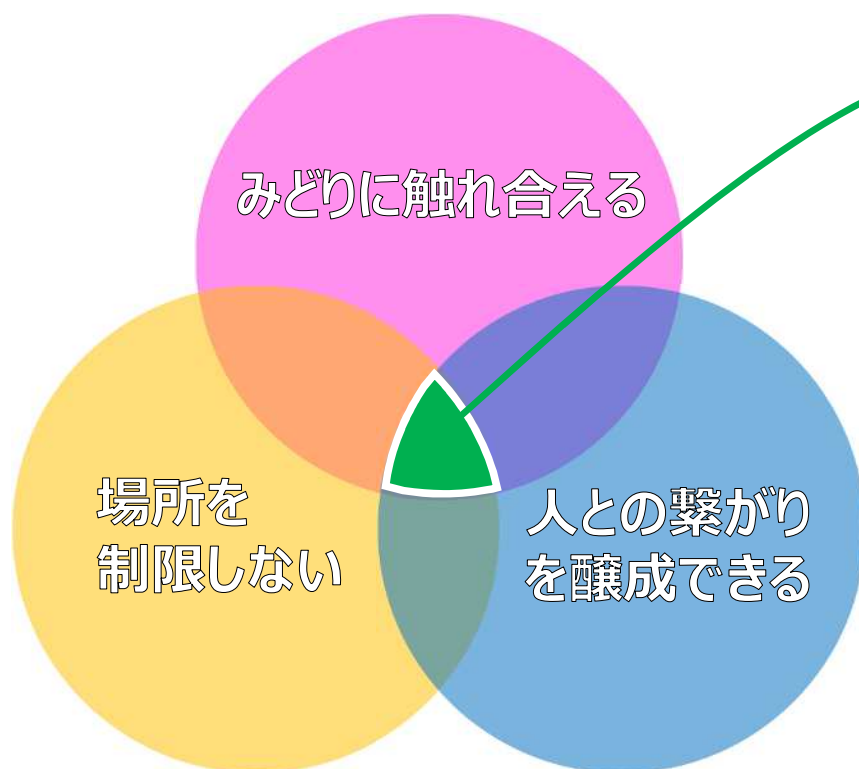
『暮らしやすく/住み続けたい川崎』を阻害する3つの課題





●トラックガーデンによる『みどり』を通じた、コミュニティの創出

本事業は『住み続けたい川崎の実現』を目的とし、川崎での生活満足度と愛着の向上という課題を、みどりに繋がるコミュニティの創出により解決することを目指す



事業内容



●トラックガーデンと一緒に展開されるコンテンツのイメージ



市内産野菜を使ったキッチンカー



地域団体や農家、事業主の出展

みどりに触れる1日



市内の植木生産農家による 1日だけのトラックガーデン



みどりのワークショップ



みどりをテーマにしたパフォーマー（音楽）の演出

事業内容（地域連携による出展事例）



コンポスト（生ごみ・畑・土・みどり）



木育（木・林業・森環境）



せっけん（排水・水環境・海と森）



生産者（農家・養蜂家）



実証実験について



・開催時期及び場所

3月に実施するかわさきフェア春開催 1年前イベント内で実施

・実証実験での役割のイメージ

- 施工/管理 : 該当なし
- 運営管理 : Green Neighbors
- 協賛/企画 : ホリプロ
- + αコンテンツ : かわさき生活クラブ、Green Neighbors
- 広報 : かわさき生活クラブ
- 地域連携 : かわさき生活クラブ、Green Neighbors

・想定コンテンツ

- ・みどりをテーマにしたワークショップやパフォーマンス
- ・地域団体や農家、事業主の出展
- ・キッチンカー等

・想定事業費

- ・ 約650,000円（うち、実行委員会で1/2を負担）